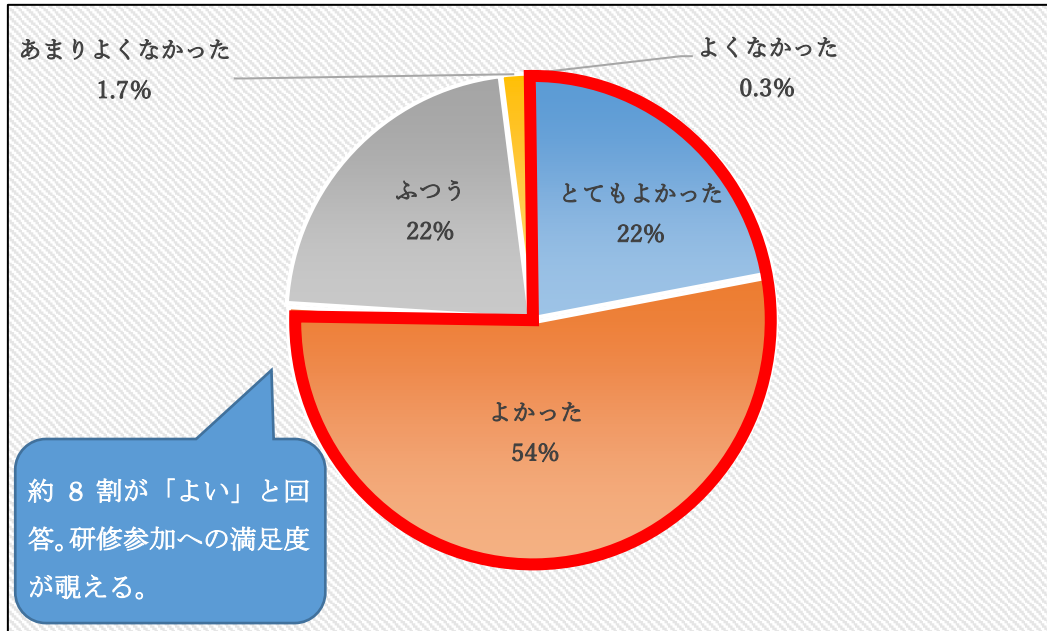


令和4年度子どもの貧困に関する職員研修 報告書

- ◆実施方法：動画形式で研修を実施
- ◆配信日：令和5年2月6日(月)～令和5年3月31日(金)
- ◆講師：小田川 華子氏
(東京都立大学非常勤講師、日野市子どもの貧困対策推進委員会副委員長)
- ◆内容：『困窮家庭の子どもたちの不利を蓄積させないために』
 - ①Part 1…子どもの貧困の現状
 - ②Part 2…予防と対応：各部署でできること
 - ③Part 3…日野市の子どもを取り巻く現状と
第2期日野市子どもの貧困対策に関する基本方針(※)
 - ④Part 4…困難な状況にある子ども・家庭への支援の取り組み事例※Part 3はセーフティネットコールセンターが担当
- ◆受講者：1269名(対象者2108人)
- ◆アンケート結果：別紙参照

アンケート集計結果

○研修内容の満足度



「とてもよかった」、「よかった」を合わせて、約 8 割が満足を感じている結果になった。今後も学びや気づきのある研修を継続しつつ、「ふつう」「あまりよくなかった」「よくなかった」と回答した層へ、より意義を感じていただける内容となるよう工夫が必要。

研修の感想及び質問（自由記述）

1. 良かった点

- ・具体的な数字があり、現状を把握しやすくわかりやすい。
- ・意識が高まるので今後も定期的で開催してほしい。
- ・動画での研修は業務とのスケジュールの調整がしやすく、参加しやすい。
- ・いくつかのブロックに分かれており、自分のペースで視聴できた。

2. 要望・改善点

- ・研修時期を早めてほしい。
- ・全体的に長いので、時期を分割する・動画を分割するなど負担の少ないものにしてほしい。
- ・動画を自席でみるのはなかなか難しい。(窓口対応、デバイスの数などの兼ね合いもある)
- ・情報量が多くわかりにくい。ポイントを絞ってほしい。
- ・子どもからの回答や保育園、学校からの観点も含んだ資料があるとよい。
- ・実際の現場でのイメージがつかみやすい研修にしてほしい。

3. 講師への質問及び回答

【質問】

子どもの貧困の状況、市の状況や施策の方向性については大変よく理解できました。経済施策の面で、所得の再分配が失敗している、というデータ（ちょっとこれ自体に疑問はありますが）に対し、どのような施策が考えられるのか、その原因とともに研究する必要があると思いました。おそらく、日本で諸外国と比べ未実施となっている「施策の不足」が原因ではなく、再分配の考え方（計算方法）やアウトリーチに主要因があるのでは、と思いました。この点について研究があれば教えていただきたいです。

また、6次行革で示された「政策化判断指針」においては、最低生活保障は何をおいても（将来負担の過剰な増大等の外部影響がある場合は別ですが）実施すべき施策と位置付けています。アウトカム指標の設定とモニタリングは必要ですが、そうした面も含め、施策立案について何か支障があればご相談いただきたく、よろしく願いいたします。

【回答】

まず、貧困対策としまして、施策が足りていないというより、所得再分配とアウトリーチが課題なのではないか、という点についてです。ご指摘の通り、経済的困窮につきましては、生活相談では対応できない部分ですので、税の減免や各種手当等の現金給付といった所得再分配や、現物・サービス給付（無料・利用料減免）という形で対応しなければならないと思います。

（所得再分配の考え方および計算方法については、参考資料①を参照）

一方、アウトリーチは、それぞれが必要とする各種手当（所得再分配施策）や支援・サービスの利用申請につながるために必要な支援だと思います。アウトリーチができていれば、給付やサービスは必要ないかという、そうではない、という前提で、アウトリーチによる伴走支援の重要性を捉えていただければと思います。（参考資料②を参照）

<参考資料>

資料①

厚生労働省政策統括官「平成29年 所得再分配調査報告書」

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/dl/96-1/h29hou.pdf>

（令和2年度の国民生活基礎調査が中止になったのに伴い、所得再分配調査については平成29年のものが最新となります。）

資料②

・篠原匡（2022）『誰も断らない こちら神奈川県座間市生活援護課』朝日新聞出版

- ・特定非営利活動法人ホームレス支援全国ネットワーク（厚生労働省委託事業）（2020）「伴走型支援って何？ー 地域共生社会におけるキーワード「伴走型支援」について」
- ・一般社団法人日本伴走型支援協会 HP「伴走支援とは<<https://nbk.or.jp/what-bansou/>>」

今後の検討事項

- ・データを活用し、具体的な数値等を示し、よりイメージが付きやすい内容にする。
（特に日野市の現状や具体的な状況を引き続き入れる）
- ・資料は説明用の PowerPoint 資料と別に、口頭での解説がなくても理解しやすいように補足を入れた紙資料を用意し、より理解が深めやすいようにする。
- ・毎年開催し、継続して職員の関心を高め意識づけを図る。
- ・実施方法をどうしていくかを要件等。（対面形式、動画形式、ハイブリッド形式など）
- ・研修実施時期をいつにするかを要検討。（年度末は避ける）